

## 5.2 想定火口範囲

一般的に火口はハザードそのものではないが、溶岩流や大きな噴石の発生地点となるためハザードマップに示すことが必要である。そこで想定火口範囲として、4.1 の大中小規模毎の火口範囲の外周を囲んだ範囲を火口発生地点の可能性マップとして示す。

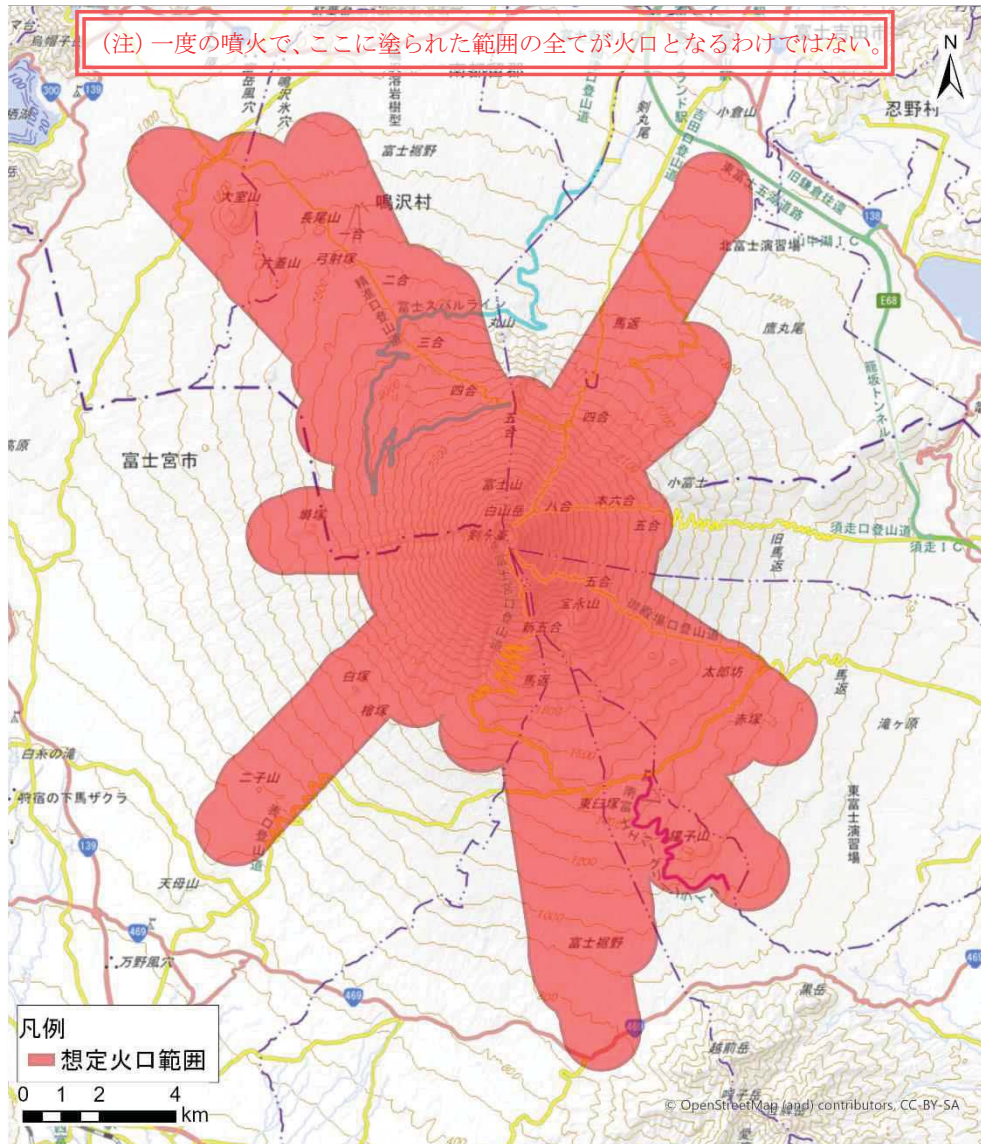


図 5.2-1 想定火口範囲

【参考】

平成 16 年版報告書での想定火口範囲

同様に大中小規模毎の火口範囲の外周を囲んだ範囲を火口形成の可能性マップとしている。

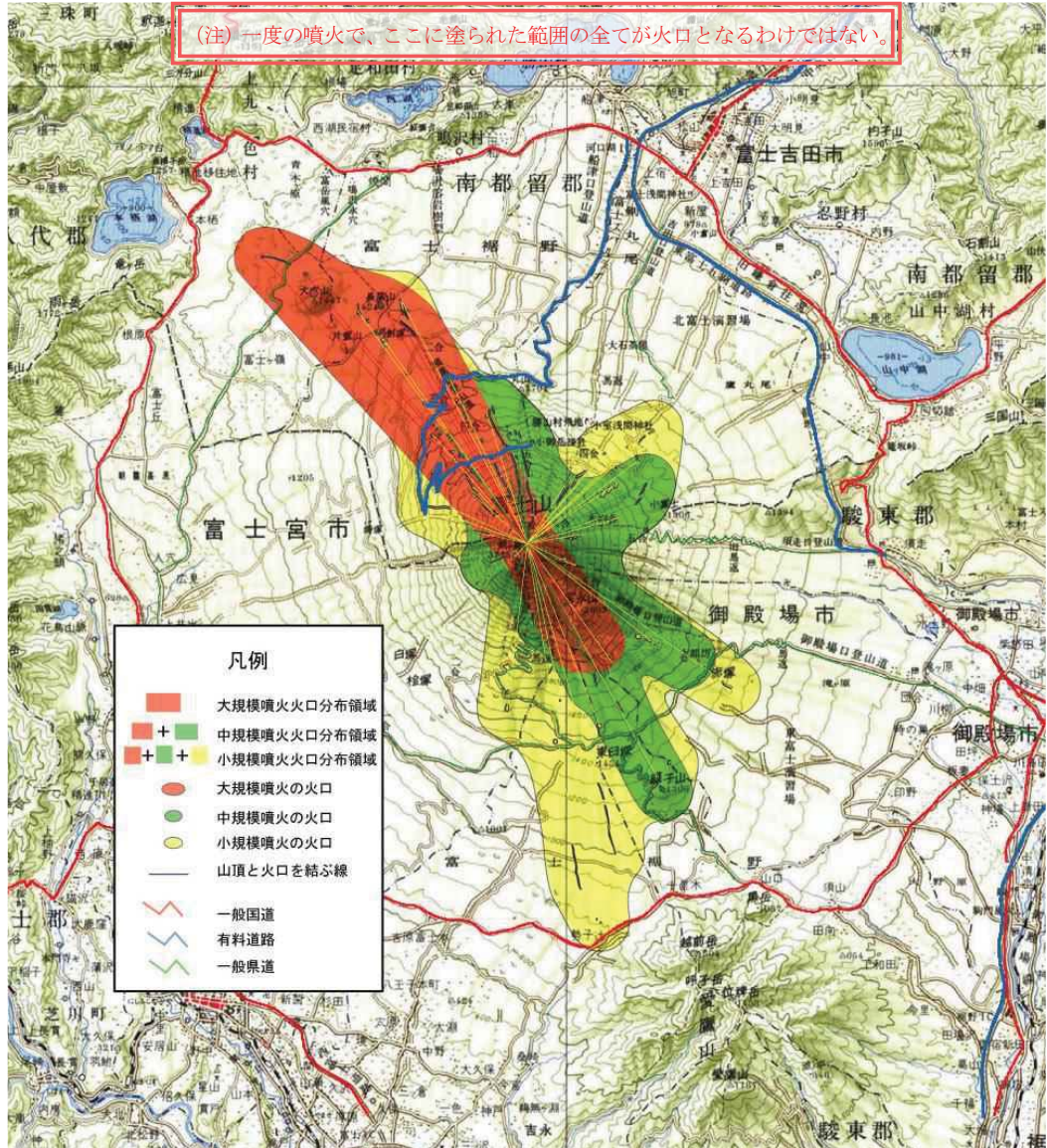


図 5.2-2 規模毎の想定火口範囲

噴火する可能性のある領域を噴火の規模ごとに示す。橙色の領域は大規模噴火、橙色と緑色を合わせた領域は中規模噴火、橙色、緑色及び薄黄色を合わせた領域は小規模噴火の可能性のある領域である。